

平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成22年8月2日

上場取引所 J Q

上場会社名 株式会社中京医薬品

コード番号 4558

URL <http://www.chukyoiyakuhin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 正行

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 辻村 誠 (TEL) 0569 (29) 0202

四半期報告書提出予定日 平成22年8月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	1,880	△12.1	137	△11.0	145	△9.6	30	△62.1
22年3月期第1四半期	2,138	—	154	—	160	—	79	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	2	98	—	—
22年3月期第1四半期	7	86	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭
23年3月期第1四半期	5,556	2,263	2,263	40.7	224	18	
22年3月期	5,180	2,266	2,266	43.8	224	47	

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 2,263百万円 22年3月期 2,266百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
22年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	2 50	—	2 50	5 00
23年3月期(予想)	—	2 50	—	2 50	5 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成23年3月期の業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	3,749	△7.4	143	△18.8	137	△27.5	67	△31.6	6	63
通期	7,240	△3.1	200	14.9	190	△3.6	100	12.4	9	90

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] 1 ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期 1 Q	11,385,734株	22年3月期	11,385,734株
23年3月期 1 Q	1,286,722株	22年3月期	1,286,678株
23年3月期 1 Q	10,099,021株	22年3月期 1 Q	10,099,326株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する定性的情報	1
(2) 財政状態に関する定性的情報	1
(3) 業績予想に関する定性的情報	1
2. その他の情報	1
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	1
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	1
3. 四半期財務諸表	2
(1) 四半期貸借対照表	2
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	5
(4) 継続企業の前提に関する注記	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間における我が国の経済は、中国を中心とする海外経済の持ち直しによる企業収益の改善が続く一方、欧州の財政危機に端を発した景気の下振れ、継続的な円高等のマイナス要因もあり、引き続き弱々しい状態が続いております。

このような環境の中で、当社は顧客満足度の向上を営業の現場でしっかり根付かせ、より一層お客様に「健康」と「幸福」をお届けできる企業を目指すとともに、改めて企業の社会的責任を自覚し、新中期計画においてCSRの理念を明文化し皆様方からより愛され、より親しまれる企業となることを目的とし、経営基盤の強化に取り組みました。当社の中核事業であります家庭医薬品等販売事業においては、営業所統廃合を積極的に進め、より一層の販売費及び一般管理費の削減に取り組み、利益を重視した強固な財務基盤の構築に努めてまいりました。またアクアマジック事業部で展開いたしております売水事業につきましては第2の柱とするべく今後の事業拡大に備え、供給力の大幅向上のため新工場の建設を進めております。その結果第1四半期会計期間における事業別売上高は、家庭医薬品等販売事業の小売部門においては1,519百万円(前年同期比11.5%減)、卸売部門においては261百万円(前年同期比12.2%減)、売水事業部門においては93百万円(前年同期比14.1%減)、その他においては5百万円(前年同期比65.1%減)となりました。

また、当第1四半期会計期間における売上高は1,880百万円(前年同期比12.1%減)、営業利益は137百万円(前年同期比11.0%減)、経常利益は145百万円(前年同期比9.6%減)、また四半期純利益は30百万円(前年同期比62.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末における総資産は5,556百万円となり、前事業年度末に比べ375百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加274百万円、受取手形及び売掛金の増加151百万円によるものであります。

負債の部は3,292百万円となり、前事業年度末に比べ378百万円増加いたしました。これは主に短期借入金の増加150百万円、賞与引当金の増加105百万円及び未払法人税等の増加104百万円によるものであります。

純資産の部は2,263百万円となり、前事業年度末に比べ2百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金の増加4百万円、その他有価証券評価差額金の減少7百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前事業年度末の43.8%から40.7%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期末の現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は996百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は264百万円となりました。これは主に税引前四半期純利益97百万円、仕入債務の増加額86百万円及びたな卸資産の減少額52百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は18百万円となりました。これは主に定期預金の払戻による収入66百万円、定期預金の預入による支出63百万円及び有形固定資産の取得による支出24百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果増加した資金は31百万円となりました。これは主に短期借入金の純増加額150百万円、長期借入金の返済による支出92百万円及び配当金の支払額25百万円によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想につきましては、平成22年5月20日付けにて発表いたしました業績予想からの変更はありません。詳細につきましては「平成22年3月期決算短信」をご覧ください。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度において使用した将来の業績予測に当四半期累計期間における著しい変化の影響を加味したものを使用しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、従来に比べ、営業利益、経常利益は5,284千円、税引前四半期純利益は、30,595千円減少しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,181,029	906,846
受取手形及び売掛金	558,415	406,468
商品及び製品	399,154	397,590
委託商品	473,697	522,380
仕掛品	66	65
原材料及び貯蔵品	24,496	29,617
その他	235,166	184,634
貸倒引当金	△11,351	△9,286
流動資産合計	2,860,674	2,438,315
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	428,475	455,448
土地	1,713,175	1,713,175
その他（純額）	44,059	21,415
有形固定資産合計	2,185,711	2,190,039
無形固定資産	54,589	56,325
投資その他の資産		
その他	485,427	525,129
貸倒引当金	△30,045	△29,110
投資その他の資産合計	455,382	496,018
固定資産合計	2,695,683	2,742,384
資産合計	5,556,358	5,180,700
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	516,329	429,975
短期借入金	300,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	368,184	368,184
未払法人税等	115,202	10,435
賞与引当金	258,700	153,000
返品引当金	10,957	15,709
その他	386,831	363,829
流動負債合計	1,956,204	1,491,133
固定負債		
長期借入金	851,533	943,579
退職給付引当金	150,283	151,554
役員退職慰労引当金	306,370	302,150
資産除去債務	4,191	—
その他	23,776	25,354
固定負債合計	1,336,154	1,422,638
負債合計	3,292,359	2,913,772

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	530,950	530,950
資本剰余金	274,115	274,115
利益剰余金	2,018,594	2,013,715
自己株式	△548,210	△548,199
株主資本合計	2,275,449	2,270,581
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△11,450	△3,653
評価・換算差額等合計	△11,450	△3,653
純資産合計	2,263,999	2,266,928
負債純資産合計	5,556,358	5,180,700

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	2,138,769	1,880,135
売上原価	693,010	594,854
売上総利益	1,445,758	1,285,281
販売費及び一般管理費	1,290,855	1,147,447
営業利益	154,903	137,833
営業外収益		
受取利息	153	158
受取配当金	319	846
受取家賃	5,408	5,036
その他	4,518	6,450
営業外収益合計	10,399	12,491
営業外費用		
支払利息	4,520	4,962
その他	69	105
営業外費用合計	4,589	5,068
経常利益	160,712	145,256
特別利益		
保険解約返戻金	1,613	—
特別利益合計	1,613	—
特別損失		
減損損失	—	22,358
投資有価証券評価損	197	21
役員退職慰労金	10,700	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	25,310
その他	430	—
特別損失合計	11,327	47,691
税引前四半期純利益	150,998	97,565
法人税、住民税及び事業税	67,028	111,722
法人税等調整額	4,543	△44,284
法人税等合計	71,572	67,438
四半期純利益	79,426	30,127

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	150,998	97,565
減価償却費	10,797	12,170
減損損失	—	22,358
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	23,681	2,999
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△4,597	△1,270
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△47,640	4,220
受取利息及び受取配当金	△472	△1,004
支払利息	4,520	4,962
為替差損益 (△は益)	△376	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	25,310
売上債権の増減額 (△は増加)	△157,181	△151,947
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△117,050	52,238
仕入債務の増減額 (△は減少)	201,870	86,353
その他	126,911	118,986
小計	191,461	272,943
利息及び配当金の受取額	427	957
利息の支払額	△4,514	△4,962
法人税等の支払額	△73,314	△4,373
営業活動によるキャッシュ・フロー	114,060	264,564
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△13,350	△63,000
定期預金の払戻による収入	18,937	66,000
有形固定資産の取得による支出	△13,268	△24,065
無形固定資産の取得による支出	△2,380	△128
投資有価証券の取得による支出	△21,604	—
貸付金の回収による収入	240	240
関係会社の整理による収入	18,459	—
その他	131	2,455
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,835	△18,498
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△120,000	150,000
長期借入れによる収入	310,000	—
長期借入金の返済による支出	△104,576	△92,046
リース債務の返済による支出	—	△1,578
自己株式の取得による支出	△9	△11
配当金の支払額	△50,496	△25,247
財務活動によるキャッシュ・フロー	34,917	31,117
現金及び現金同等物に係る換算差額	△28	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	136,113	277,183
現金及び現金同等物の期首残高	706,321	719,447
現金及び現金同等物の四半期末残高	842,435	996,630

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。